

Carinaのフロアクリーニング

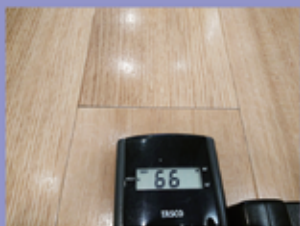
～定期清掃の流れ～

start!

① 床洗浄+ワックス

<通常清掃>

- 通常洗浄にて表面の汚れを除去してワックスを塗布します。ワックスには美観や床材の保護効果があります。また無垢材や磁器タイル床には塗布できません。



※光沢値も高くセラミックの様な仕上がり



② 定期清掃

<2回目以降>

- ワックスに厚み加わり強い光沢が感じられます。また積み重なった汚れもない為、透明感のある仕上がりが維持できます。フロアメンテナンスにおけるサイクルの中では最適な環境になります。

【光沢計】

床の表面に当たった光が正反射する属性を光沢といいその程度を表す光沢度を測定するのが光沢計です。光沢度が高いほど、数値が高くなります。



④ 初期化

<下層のワックスを剥離>

- 剥離清掃で重なり過ぎたワックスや汚れを一掃します。剥離清掃は通常清掃より2倍の時間を要します。その為、施工代金も

通常洗浄とは異なりますのでご注意ください。



↑初期化（左：汚れの溜まった床 右：ワックス済）
↓剥離洗浄前（上：↑ワックス未塗布 下：汚れの溜まった床）



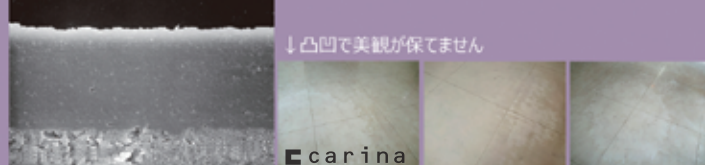
③ ビルドアップ

<下層のワックスが劣化>

- 回数を重ねるごとにワックスの被膜は厚くなりますが下層のワックスが劣化や変色、黒ずみを挟み込んでいる為、ワックスを上塗りしても思った以上の効果が得られなくなります。（ビルドアップ状態）また重歩行環境でワックスの摩耗が激しいと全体的に凸凹になります。光沢・光沢値は高くなりますがどこか曇ったような鈍い輝きの仕上がりに見えます。



《ビルドアップ状態のワックス断面図》



↓凸凹で美観が保てません

■ご確認事項

- パソコンのデータや設定などは補償外となっております。作業の際、必要であればお客様での移動をお願いしております。また重量物や復元ができない可能性がある物などは作業にあたり固定とさせていただいております。
- 作業頻度や仕様などは使用状況やコストによって変わります。詳しくはお問い合わせください。